

# 人権教育振興事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ 生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211 6112 6113 6122

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 朝霞市人権教育推進協議会補助金交付要綱 朝霞市人権教育講師派遣要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

人権に関する研修会を通じて、市民が人権問題について学び、人権尊重の意識が高揚している。

### 事業内容【継続】

- ・人権問題講演会、市民人権教育研修会、企業人権教育研修会、公民館人権教育講座、講師派遣事業等の実施や啓発冊子の発行等により、人権教育の推進・啓発活動を行う。
- ・人権教育推進協議会への補助を通じて、人権教育・啓発の推進を図る。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

公民館人権教育講座及び企業人権教育研修会の実施。  
 朝霞市人権教育推進協議会との共催による現地研修会（フィールドワーク）の実施。  
 成人式及び各種人権教育研修会における人権啓発品及び啓発冊子の配布。  
 朝霞市人権教育推進協議会への補助金の交付《135,000円》。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 各種研修会・講座開催回数	回	10 ( 11 )	10 ( 1 )	10 ( 3 )	10 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 各種研修会・講座参加者数	人	620 ( 646 )	630 ( 50 )	630 ( 210 )	630 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,066	688	343	千円
人件費	7,912	4,266	6,436	千円
総計	8,978	4,954	6,779	千円

【財源内訳】一般財源 243千円 県支出金 100千円  
 【執行内訳】報償費 50千円、旅費 5千円、需用費 12千円  
 役員費 0千円 委託料 0千円、備品購入費 85千円  
 負担金、補助及び交付金 191千円 合計 343千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

例年、朝霞市人権教育推進協議会と協働で、多様な人権課題の中から偏ることなく今日的な課題をテーマとして取り上げ、講演会や研修会を実施しているが、新型コロナウイルスの影響から企画していた多くの事業を中止せざるを得ない状況となった。そのような中でも、企業を対象とした人権教育研修会や市民向けの人権教育講座を実施し、多くの市民や企業担当者に参加していただくことができた。今後もより効果的な実施手法等を研究し、できるだけ多くの市民が人権に対する関心を持ち、正しい知識を得られるよう人権教育の推進に努める。

# 成人式事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211,2242

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市成人式開催要領

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

新成人が成人式に参加し、社会人としての自覚を持って生活に臨んでいる。

### 事業内容【継続】

成人の日に「朝霞市成人式」を挙げる。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

式典時間の短縮、3部制による実施、入場時の手指消毒及びマスク着用の徹底等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、成人の日に市民会館大ホールにて、新成人の協力を得て、朝霞市成人式を開催した。内容を変更して実施したことによる混乱もなく、過去10年間で最も高い満足度を得た。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 成人式参加率	%	67.0	67.0	67.0	67.0
			( 63.6 )	( 61.8 )	( 64.8 )	R 7 年度
成果	① 成人式満足度	%	75.0	75.0	70.0	70.0
			( 67.1 )	( 77.7 )	( 89.5 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,515	1,426	1,430	千円
人件費	8,145	10,084	5,679	千円
総計	9,660	11,510	7,109	千円

【財源内訳】一般財源 1,430千円  
 【執行内訳】報償費 600千円 需用費 304千円 役務費 173千円  
 委託料 353千円 合計 1,430千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和2年度に引き続き、コロナ禍での開催となり、式典時間の短縮や三部制による実施等、感染防止対策を講じた上で実施した。現状においては、次年度以降のコロナの収束を予測することができず、感染状況を注視しながら準備を進めることとなるが、様々な制約下であっても、多くの新成人が参加して良かったと思える式典の開催、運営に努めていく。

# 生涯学習啓発推進事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ 生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211,3212,3213

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市市民企画講座事業補助金交付要綱 朝霞市生涯学習ボランティア活用推進事業補助金交付要綱 子ども大学あさか実行委員会設置要綱 子ども大学あさか事業補助金交付要綱 社会教育法 朝霞市社会教育委員設置条例 朝霞市生涯学習推進会議設置要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

学習機会を提供することにより、市民及び市民活動団体が、積極的に生涯学習に取り組んでいる。また、学びを習得した市民が他の市民へと学びを繋げる「知の循環型社会」を形成していく。

### 事業内容【継続】

・生涯学習ガイドブック「コンパス」の発行等、生涯学習情報を提供する。・学習講座を企画、実施する団体に補助金を交付し活動を支援する。・社会教育委員会議、生涯学習推進会議等を開催するとともに、朝霞市生涯学習計画の進捗管理を行い、生涯学習の推進を図る。・生涯学習体験教室、市民企画講座、あさか学習おとどけ講座、子ども大学あさか等各種事業を実施する。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

あさか学習おとどけ講座の実施／生涯学習ガイドブック「コンパス」の作成／生涯学習情報の提供／補助金交付等、市民の自主的な学習支援／社会教育委員会議の開催／ボランティアバンク制度の活用による市民や団体の知識・技能の還元／生涯学習計画実施計画の進捗管理／子ども大学あさかの実施

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 体験教室の実施講座回数	回	55 ( 38 )	55 ( 21 )	55 ( 22 )	R 7 年度
	② 市民企画講座補助金交付団体数	団体	10 ( 11 )	10 ( 7 )	10 ( 5 )	R 7 年度
成果	① 体験教室の延べ参加人数	人	650 ( 648 )	670 ( 448 )	670 ( 462 )	R 7 年度
	② 市民企画講座延べ参加者数	人	900 ( 890 )	930 ( 527 )	930 ( 600 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	10,934	8,406	8,947	千円
人件費	12,799	8,921	10,979	千円
総計	23,733	17,327	19,926	千円

【財源内訳】一般財源 8,909千円 その他 38千円  
 【執行内訳】報酬 5,878千円 職員手当等 1,106千円 報償費 10千円 旅費 68千円 需用費 1,153千円 役務費 17千円 使用料及び賃借料 82千円 負担金、補助金及び交付金 633千円  
 合計 8,947千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

今後も市民のニーズや、社会状況の変化などを考慮しながら、さらなる発展に向けて事業展開する。また、業務プロセスについては、事業の多くが市民との協働で進められているため、市民や市民団体と協議の上、持続可能な各事業のシステムの構築に向けて、見直しを進めていきたい。

# 生涯学習計画策定事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市社会教育委員設置条例 朝霞市生涯学習推進会議設置要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習計画を策定し、全庁において永続的かつ総合的に生涯学習施策を実施することにより、市民や民間企業も含めた生涯学習関連団体が、積極的に生涯学習に取り組み、「知の循環型社会」が形成されることで、活気あるまちづくりにつながっている。

### 事業内容【継続】

平成29年3月に策定した、「第3次朝霞市生涯学習計画」の計画期間が令和3年度末に5年を経過するため、令和2年度から3年度の2箇年で市民意識調査及び後期期間の計画の策定を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

令和3年度においては、第3次朝霞市生涯学習計画の前期期間の進捗状況の確認し、計画の後期期間における庁内関係各課の実施事業等を整理して、社会教育委員会議で協議した。なお、令和4年度から始まる計画の後期期間については、前期期間の基本計画を継続し、基本理念である「一人がひとりが心豊かにともに学び生きるまちあさか」の実現を目指して、引き続き生涯学習の推進に取り組んでいく。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 社会教育関係団体及び市民懇談会実施回数	回	-	3	-	-
	②		( )	( 0 )	( )	R 7 年度
成果	① アンケート実施件数	件	-	3,250	-	-
	② 計画の策定	-	検討	検討	策定完了	-
			( 検討した )	( 検討した )	( 策定完了した )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	0	4,654	6,815	千円
総計	0	4,654	6,815	千円

【財源内訳】一般財源 千円  
【執行内訳】  
※令和3年度予算計上なし

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和3年度に前期期間の計画の進捗状況や市民ニーズの確認、現状の課題等を整理し、後期期間において、より効果的に生涯学習の推進を図るため実施事業を改めた。後期期間においても、前期期間の基本計画を継続しつつ、さらなる生涯学習の推進を図るよう、庁内関係各課と連携を図りながら、引き続き事業を実施していく。

# 放課後子ども教室事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ 生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3212,2213,3141

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱 埼玉県放課後子供教室推進事業等補助金交付要綱 朝霞市放課後子ども教室推進事業実施要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

小学生を対象に教室ごとに各メニューを実施することで、多くの小学生の居場所が確保できた。

### 事業内容【継続】

小学校を会場に放課後子ども教室を実施する。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

実施校：朝霞第一小学校、朝霞第三小学校、朝霞第四小学校、朝霞第五小学校、朝霞第七小学校、朝霞第十小学校（市内全児童対象）  
 期 間：令和3年10月～令和4年3月 各校12回実施  
 種 目：科学あそび（一小）、おもしろ工作教室（三小）、バランスボール（四小）、わくわくスポーツ（五小）、人形劇（七小）、書道（十小）  
 参加者：延べ720人（見込み）※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各教室の定員を25人から15人へ減員した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 放課後子ども教室実施学校数	校	7 ( 6 )	7 ( 6 )	6 ( 6 )	7 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 教室の延べ参加人数	人	1,500 ( 1,272 )	1,550 ( 772 )	1,550 ( 720 )	1,550 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,849	1,985	1,893	千円
人件費	7,447	7,757	6,436	千円
総計	9,296	9,742	8,329	千円

【財源内訳】一般財源 624千円 県支出金 1,246千円 その他 23千円  
 【執行内訳】報償費 1,300千円 需用費 198千円 役務費 121千円  
 委託料 274千円  
 合計 1,893千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和4年度は、現在市内6校で土曜日の午前中に実施しているプログラム提供型の放課後子ども教室に加えて、小学校の夏季休業期間中に居場所提供型事業として放課後子ども教室を拡充して実施する。実施校や事業計画等については、今後、「朝霞市放課後子ども教室実行委員会」で検討する。今後も、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動などの取組を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

# 図書館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 図書館サービス係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

図書館法 朝霞市立図書館条例 朝霞市立図書館管理規則 朝霞市立図書館資料収集方針 朝霞市立図書館資料除籍基準 朝霞市立図書館対面朗読サービス実施要領 朝霞市立図書館宅配貸出事務処理要領 朝霞市立図書館郵送貸出サービス実施要領

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内資料により、必要な情報を的確に入手することができる。

### 事業内容【継続】

図書館資料の収集、保存、除籍、資料整理等の実施管理  
 閲覧、貸出、予約、レファレンス等の利用者サービスの実施  
 児童、青少年、成人、障害者等の利用者対象事業の実施  
 図書館システムの管理、統計の作成等  
 図書館協議会、子ども読書活動推進連絡会の開催

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

図書館資料の収集・選定、保存、廃棄までの管理、図書館資料貸出等の利用促進、障害者サービスの実施、図書関連イベントの開催（書庫見学ツアーなど）、図書館協議会の開催、図書館システムの管理・統計等の作成、図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画の推進。第3次子ども読書活動推進計画の策定。図書館総合情報システムの更新。電子図書の導入。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	326 ( 326 )	326 ( 280 )	326 ( 172 )	R 7 年度
	② 新刊書の選書回数	回	50 ( 50 )	50 ( 50 )	50 ( 50 )	R 7 年度
成果	① 利用者満足度	%	80 ( 93.2 )	80 ( 83.9 )	80 ( 93.7 )	R 7 年度
	② 実質登録率	%	20 ( 14.6 )	20 ( 11.3 )	20 ( 15.0 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	70,670	72,800	87,261	千円
人件費	69,037	59,729	59,819	千円
総計	139,707	132,529	147,080	千円

【財源内訳】一般財源87,261千円  
 【執行内訳】報酬29,247千円、職員手当等4,110千円、報償費304千円、旅費1,153千円、需用費9,713千円、役務費2,773千円、委託料4,482千円、使用料及び賃借料18,626千円、備品購入費16,800千円、負担金、補助及び交付金53千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

図書館資料収集方針に基づいて、限りある予算の中で、利用者に適切な資料が提供できるよう選書し資料収集に努める。未所蔵資料については、相互貸借により他市町村図書館所蔵の資料提供を行い、来館者アンケート結果を踏まえた図書館サービスを図っていく。また、令和3年度に更新した図書館システムや電子図書館による新たな利用者サービスの提供と共に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりつつ、各事業を実施し、図書館利用の向上に努めていく。

# 図書館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習事業の拠点として、図書館来館者が安全で快適に本に親しみ、また、学習することができる。

### 事業内容【継続】

図書館施設維持管理に係る警備業務、自動ドア保守、エレベーター保守、消防設備保守点検、空気調和設備保守点検、電気保安管理、清掃業務、植木剪定、建築物・建築設備定期検査、中央監視盤保守点検の各種契約事務、履行監理。また、電話機、消臭器、防犯カメラ、AEDの借上業務や土地賃貸借契約業務、施設等の点検、修繕の実施。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

今年度は図書館本館の改修工事を実施したため、活動指標の数値を満たすことはできなかったが、改修工事の中で施設の不良箇所等をまとめて改修することができ、また、休館期間中も隣接する中央公民館図書室で臨時窓口を開設し、必要最小限のサービスを提供した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 6 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	326 ( 326 )	326 ( 280 )	326 ( 172 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	28,212	26,552	26,196	千円
人件費	9,308	9,308	7,572	千円
総計	37,520	35,860	33,768	千円

【財源内訳】一般財源26,196千円  
 【執行内訳】需用費12,048千円、役務費121千円、委託料10,260千円、使用料及び賃借料3,767千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

改修工事において機器の更新等により、防犯カメラや消臭器の借上業務を廃止したこともあるため、業務は縮小傾向にある。また、委託内容についても精査が必要と考え、必要最低限の仕様とするなど検討していくこととなる。いずれにしても、引き続き利用者が安全で快適に本に親しみ、学習することができる環境を維持できるよう努めていく。

# 図書館北朝霞分館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／図書館

／北朝霞分館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

図書館法 朝霞市立図書館条例 朝霞市立図書館管理規則 朝霞市立図書館資料収集方針 朝霞市立図書館資料除籍基準 図書館ビジネス支援サービス事業実施要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内資料により、必要な情報を的確に入手することができる。

### 事業内容【継続】

図書館資料の収集、保存、除籍、資料整理等の実施  
 閲覧、貸出、予約、レファレンス等の利用者サービスの実施  
 ビジネス支援サービスの実施

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

本館が休館したことにより、利用者数が大幅に増加した。  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、滞在時間の制限や閲覧席の数を減らす等の対策を取りながらのサービス提供となった。資料の提供等については、概ね予定どおりに実施することができた。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	327 ( 327 )	326 ( 280 )	326 ( 318 )	R 7 年度
	② 新刊書の選書回数	回	50 ( 50 )	50 ( 50 )	50 ( 50 )	R 7 年度
成果	① 利用者満足度	%	80.0 ( 93.2 )	80.0 ( 83.9 )	80.0 ( 93.7 )	R 7 年度
	② 実質登録率	%	20.0 ( 14.6 )	20.0 ( 11.3 )	20.0 ( 15.0 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	25,527	27,797	28,709	千円
人件費	39,949	39,949	38,996	千円
総計	65,476	67,746	67,705	千円

【財源内訳】一般財源28,709千円  
 【執行内訳】報酬14,326千円、職員手当等2,762千円、旅費183千円、需用費2,334千円、役務費272千円、委託料172千円、使用料及び賃借料421千円、備品購入費8,239千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地	<input type="checkbox"/> 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> その他
--------	--

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

図書・雑誌・新聞等の出版物を収集・保存し、市民に提供するという図書館の基本的役割は今後も継続しながら、蔵書の充実やリクエストへの対応など、引き続き図書館サービスの基本を忠実に実行していく。

# 西朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 西朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する事務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

・各種講座等の開催（成人教養講座・さわやか健康教室・伝統文化講座） 参加者：延べ325人  
 ・施設の貸出し 利用人数：30,000人、利用率：54.1%  
 ・図書貸出冊数 11,800冊

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	110 ( 115 )	110 ( 103 )	110 ( 110 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	40,000 ( 34,731 )	40,000 ( 19,972 )	40,000 ( 30,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	5,851	6,731	7,256	千円
人件費	12,441	12,441	12,441	千円
総計	18,292	19,172	19,697	千円

【財源内訳】一般財源7,256千円  
 【執行内訳】報酬5,114千円、職員手当等1,014千円、旅費13千円、報償費105千円、需用費511千円、役務費215千円、使用料及び賃借料194千円、備品購入費90千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 中央公民館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 事業係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互のコミュニケーションを深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口（電話対応）業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し・維持管理  
 公民館まつり（サマーフェスティバル）の開催  
 公民館運営審議会等に関する事務  
 プラネタリウム事業の企画・運営

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

- 各種講座等の開催（悠ゆう大学、さわやか健康教室、成人教養講座、こども天体教室、サイエンスキッズ、人権教育講座）  
参加者：延べ 188人
- 施設の貸出し 利用人数：57,000人、利用率：68.2%
- プラネタリウム観覧者数 延べ4,000人

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	290 ( 305 )	290 ( 293 )	280 ( 278 )	R 7 年度
	② プラネタリウム年間投映回数	回	215 ( 234 )	215 ( 106 )	215 ( 137 )	R 7 年度
成果	① 利用人数	人	110,000 ( 102,534 )	110,000 ( 51,290 )	110,000 ( 57,000 )	R 7 年度
	② プラネタリウム観覧者数	人	5,000 ( 4,361 )	5,000 ( 2,422 )	5,000 ( 4,000 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	6,540	8,063	8,829	千円
人件費	21,332	21,332	25,366	千円
総計	27,872	29,395	34,195	千円

【財源内訳】一般財源8,829千円  
 【執行内訳】報酬2,830千円、職員手当等469千円、報償費312千円、旅費68千円、需用費1,560千円、役務費571千円、委託料2,313千円、使用料及び賃借料705千円、償還金、利子及び割引料1千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
  - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
  - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
  - 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
  - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
  - その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 東朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 東朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する事務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

- 各種講座等の開催（生活教養講座・子どもふれあい広場） 参加者：延べ134人
- 施設の貸出し 利用人数：40,000人、利用率：66%
- 図書貸出冊数 34,000冊

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	130 ( 142 )	130 ( 131 )	130 ( 127 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	49,000 ( 45,893 )	49,000 ( 30,580 )	49,000 ( 40,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	6,092	6,589	7,390	千円
人件費	11,248	11,248	6,815	千円
総計	17,340	17,837	14,205	千円

【財源内訳】一般財源7,390千円  
 【執行内訳】報酬5,114千円、職員手当等1,014千円、旅費49千円、報償費127千円、需用費540千円、役務費227千円、使用料及び賃借料202千円、備品購入費117千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
  - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
  - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
  - 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
  - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
  - その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 内間木公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 内間木公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口（電話対応）業務、備品の維持管理、チラシ・冊子、広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

・各種講座等の開催（快適せいかつ講座、コミュニケーション講座、さわやか健康教室、映画会） 参加者：延べ 188人  
 ・施設の貸出し 利用人数：25,200人、利用率：55.1%  
 ・図書貸出冊数 4,550冊

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	78 ( 75 )	78 ( 78 )	78 ( 74 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	33,000 ( 31,925 )	33,000 ( 21,347 )	33,000 ( 25,200 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	5,935	6,646	7,293	千円
人件費	6,206	6,206	6,436	千円
総計	12,141	12,852	13,729	千円

【財源内訳】一般財源7,293千円  
 【執行内訳】報酬5,114千円、職員手当等1,014千円、旅費84千円、報償費92千円、需用費422千円、役務費266千円、使用料及び賃借料242千円、備品購入費59千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 南朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 南朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口（電話対応）業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し、維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

- 各種講座等の開催（南っ子クラブ、生活教養講座、さわやか健康教室、映画会） 参加者：延べ120人
- 施設の貸出し 利用人数：27,000人、利用率：52.0%
- 図書貸出冊数 10,000冊

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	120 ( 114 )	120 ( 108 )	120 ( 106 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	42,000 ( 38,238 )	42,000 ( 21,923 )	42,000 ( 27,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	5,885	6,777	7,344	千円
人件費	6,981	4,266	3,786	千円
総計	12,866	11,043	11,130	千円

【財源内訳】一般財源7,344千円  
 【執行内訳】報酬5,114千円、職員手当等1,014千円、報償費100千円、需用費461千円、役務費206千円、使用料及び賃借料329千円、備品購入費120千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
  - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
  - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
  - 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
  - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
  - その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 博物館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221,3412,3413

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

博物館法 朝霞市博物館条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

郷土の歴史を語る様々な資料を調査・収集・保存し、展示や教育普及事業において活用を図ることで地域の歴史や文化への理解と認識を深め、生涯学習の場として、いつでも誰もが学べる学習機会が市民に提供されている。

### 事業内容【継続】

展示：常設展示、企画展示、テーマ展示、ギャラリー展示  
 教育普及：聴講型・体験型講座、博学連携事業、博物館学芸員実習受入  
 資料調査：古文書調査、収蔵資料調査、自然資料調査、歴史的公文書調査  
 資料保存：特別収蔵庫及び一般収蔵庫密閉くん蒸、保存環境調査、資料修復、資料購入、図書購入  
 博物館運営：博物館協議会、公用車管理、各種機器借上、設備管理、博物館関係団体加入

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために中止となった事業があったが、ファン・ゴッホの作品の国内初公開や博学連携事業などの実施方法や内容を工夫することで、活動目標を達成することができた。成果指標の入館者数は目標値を下回ったが、前年度を大きく上回り、回復傾向にある。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 企画展示等開催回数	回	6 ( 6 )	6 ( 6 )	6 ( 7 )	R 7 年度
	② 資料調査件数	件	1 ( 1 )	随時 ( 1 )	随時 ( 1 )	R 7 年度
成果	① 企画展示等開催期間中入館者数	人	38,000 ( 27,431 )	38,500 ( 10,552 )	38,000 ( 25,948 )	R 7 年度
	② 報告書等作成件数	件	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	28,556	16,897	43,236	千円
人件費	13,963	18,617	20,444	千円
総計	42,519	35,514	63,680	千円
				【財源内訳】一般財源 43,236千円
				【執行内訳】
				報酬 5,514千円 役務費 5,709千円
				職員手当等 291千円 委託料 6,253千円
				報償費 3,444千円 使用料及び賃借料 1,716千円
				旅費 515千円 備品購入費 15,065千円
				需用費 4,650千円 負担金、補助及び交付金 79千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

展示：企画展示・テーマ展示等を引き続き実施する。

教育普及：博学連携事業では教育指導課と連携を図りながら、充実した学習内容の提供に努める。

資料調査：古文書の読み解きを進めるとともに、収蔵資料の整理・活用を図る。

# 北朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 北朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口（電話対応）業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設（部屋）の貸出し・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

・各種講座等の開催（教養講座、子育て講座、さわやか健康教室、映画会、わんぱくキッズランド） 参加者：延べ178人  
 ・施設の貸出し 利用人数：23,000人、利用率：49.0%  
 ・図書貸出冊数 34,302冊

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	110 ( 102 )	110 ( 91 )	110 ( 89 )	R 7 年度
	②					R 年度
成果	① 利用人数	人	34,000 ( 32,478 )	35,000 ( 20,365 )	35,000 ( 23,000 )	R 7 年度
	②					R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	6,789	7,375	8,112	千円
人件費	10,860	10,860	15,144	千円
総計	17,649	18,235	23,256	千円

【財源内訳】一般財源8,112千円  
 【執行内訳】報酬5,702千円、職員手当等1,014千円、旅費15千円、報償費167千円、需用費685千円、役務費277千円、使用料及び賃借料220千円、備品購入費32千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修事業を実施することにより、市民は安全・安心に公民館を利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

西朝霞公民館空気調和設備改修工事に伴う熱源機等入替工事（令和2年度繰越明許費分）及び内間木公民館空調設備改修工事設計業務委託を実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設改修工事箇所	回	4 ( 2 )	1 ( 3 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	日	0 ( 0 )	0 ( 2 )	0 ( 2 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	24,802	23,087	2,962	千円
人件費	17,841	17,841	1,136	千円
総計	42,643	40,928	4,098	千円

【財源内訳】地方債2,962千円  
 【執行内訳】委託料2,962千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

内間木公民館空気調和設備改修工事を実施する。中央公民館エレベーター更新工事及び東朝霞公民館空調設備改修工事の設計業務を委託する。引き続き公民館利用者の安全、安心、快適性を確保するため、事業を継続する。また、施設等の保全に関する取組を計画的に進め、今後も適切な保全を実施していくため、保全に関する情報の収集と関連部署との連携に努める。

老朽化も進んでいることから、適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習事業の拠点として、図書館来館者が安全で快適に本に親しみ、また、学習することができる。

### 事業内容【新規】

改修工事設計業務委託、改修工事の実施。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

令和2年度に設計した資料をもとに、工事を工期どおりに施工することができた。また、委託業務の点検の中で指摘のあった箇所について、改修することができた。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設改修工事箇所	箇所	( )	5 ( 5 )	5 ( 5 )	R 7 年度 0
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	( )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度 0
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	-	10,527	370,139	千円
人件費	-	776	5,300	千円
総計	-	11,303	375,439	千円

【財源内訳】一般財源37,039千円、地方債333,100千円  
 【執行内訳】委託料8,679千円、工事請負費361,460千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和3年度に改修工事が完了。今後についても引き続き施設の点検等を行い必要な修繕を実施し、施設の維持管理に努める。

# 図書館北朝霞分館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 北朝霞分館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習の拠点として、図書館北朝霞分館来館者が安全で快適に本に親しみ、また、学習することができる。

### 事業内容【継続】

図書館施設・設備の定期点検  
 照明器具の交換  
 防犯カメラの借上げ  
 安全・安心で快適な施設の提供  
 防災避難訓練の実施

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

施設・設備の定期的な点検、不具合箇所の修繕等を実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検日数	日	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	327 ( 327 )	326 ( 280 )	326 ( 318 )	326 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	339	350	318	千円
人件費	2,715	2,715	2,650	千円
総計	3,054	3,065	2,968	千円

【財源内訳】一般財源318千円  
 【執行内訳】需用費41千円、使用料及び賃借料277千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

引き続き、定期点検等を通じて、施設・設備の適切な維持管理を行い、誰もが安全で快適に本に親しみ、学習することができる読書環境の確保に努める。

# 西朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 西朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同用例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など11の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕10件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	287 ( 280 )	293 ( 201 )	292 ( 290 )	293 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	9,645	10,110	10,233	千円
人件費	2,639	2,639	2,639	千円
総計	12,284	12,749	12,872	千円

【財源内訳】一般財源 10,233千円  
 【執行内訳】需用費4,330千円、委託料5,689千円、使用料及び賃借料214千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

老朽化も進んでいることから、適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 中央公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕8件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	308 ( 308 )	307 ( 255 )	307 ( 307 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	24,802	23,087	26,696	千円
人件費	17,841	17,841	20,066	千円
総計	42,643	40,928	46,762	千円

【財源内訳】一般財源26,696千円  
 【執行内訳】需用費11,621千円、役務費89千円、委託料14,607千円、使用料及び賃借料379千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

老朽化も進んでいることから、適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 東朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 東朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など10の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕6件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 280 )	293 ( 244 )	292 ( 290 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	9,260	8,583	9,849	千円
人件費	4,266	4,266	6,815	千円
総計	13,526	12,849	16,664	千円

【財源内訳】一般財源9,849千円  
【執行内訳】需用費4,289千円、役務費52千円、委託料5,151千円、使用料及び賃借料357千円、

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 内間木公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 内間木公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に安心して快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕10件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 279 )	293 ( 240 )	293 ( 289 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	10,186	10,026	11,222	千円
人件費	9,308	8,533	6,436	千円
総計	19,494	18,559	17,658	千円

【財源内訳】一般財源11,222千円  
 【執行内訳】需用費3,807千円、委託料6,806千円、使用料及び賃借料609千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 南朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 南朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕7件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	292 ( 287 )	292 ( 244 )	293 ( 293 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	9,300	11,713	9,949	千円
人件費	4,654	6,206	6,815	千円
総計	13,954	17,919	16,764	千円

【財源内訳】一般財源9,949千円  
【執行内訳】需用費3,920千円、委託料5,833千円、使用料及び賃借料196千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 博物館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

博物館法 朝霞市博物館条例  
 及び管理規則 建築基準法  
 高圧ガス保安法 建築物にお  
 ける衛生的環境の確保に関す  
 る法律(通称：ビル衛生管理法)

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

博物館が生涯学習の場として適切に維持管理され、市民は安心・安全に博物館を利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、来館者の安全を図って開館することで、概ね活動指標に達した。成果指標については、達成することはできなかったが、前年度実績を大きく上回っており、回復傾向にある。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	223 ( 206 )	289 ( 242 )	289 ( 288 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 入館者数(全国歴史系公立博物館平均入館者数)	人	42,824 ( 31,770 )	36,785 ( 16,107 )	39,633 ( 30,451 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	24,469	27,424	27,668	千円
人件費	10,472	17,453	15,901	千円
総計	34,941	44,877	43,569	千円
				【財源内訳】一般財源 27,668千円
				【執行内訳】
				需用費 5,021千円 備品購入費 99千円
				役務費 96千円
				委託料 15,098千円
				使用料及び賃借料 7,204千円
				工事請負費 150千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

荷物運搬用のエレベーターの更新工事を行う。

外壁調査を実施して基礎データを得ることで、次年度以降に予定する改修工事の設計に備える。

各設備の保守点検を行い、修繕を要する場合には早急に対応し、来館者の安全と収蔵資料の保存環境の維持に努める。

# 北朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 北朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法  
電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。（清掃、警備、設備保守点検、修繕等）

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

維持管理に係る清掃など11の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕9件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	290 ( 286 )	293 ( 293 )	292 ( 291 )	293 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	8,082	7,768	8,679	千円
人件費	4,654	4,654	4,543	千円
総計	12,736	12,422	13,222	千円

【財源内訳】一般財源8,679千円  
 【執行内訳】需用費3,066千円、委託料5,452千円、使用料及び賃借料161千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

老朽化も進んでいることから、適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、耐震診断を委託する。

# スポーツ振興事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3311,3312,3313,3314

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・スポーツ基本法  
 ・朝霞市スポーツ推進審議会に関する条例  
 ・朝霞市立小中学校体育施設開放に関する規則  
 ・朝霞市スポーツ推進委員に関する規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

スポーツ環境やスポーツの現状と課題を踏まえながら事業を展開することによって、誰でもいつでもどこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現が図られている。

### 事業内容【継続】

スポーツ振興に関する調査、朝霞市スポーツ推進審議会及び朝霞市スポーツ推進委員会議の開催、学校体育施設開放事業、スポーツ教室やスポーツ大会等の開催、チラシやホームページを活用しスポーツに関する情報発信業務、事務等を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

スポーツ推進審議会議の開催 2回 スポーツ推進委員会議 4回  
 広報紙への掲載 毎月 ホームページへの掲載随時  
 学校開放事業（校庭及び体育館）の実施 小学校10校 中学校5校  
 各種スポーツ大会、教室の開催（令和3年度はコロナの影響で、市民体育祭、ロードレース大会等が中止） その他個別事業の補助的業務  
 利ビ° ヲ°ラリビ° ヲ°関連事業及び都市間交流事業の実施（令和3年度はコロナの影響で、オリパラ関連事業の「誰でもOK.記録を破れ！」以外は中止）

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① スポーツ推進審議会開催回数	回	3 ( 3 )	3 ( 3 )	2 ( 2 )	2 R 7 年度
	② スポーツ教室・大会の開催回数	回	8 ( 7 )	8 ( 0 )	8 ( 5 )	8 R 7 年度
成果	① 審議会における委員からのスポーツ行政に関する意見	件	24 ( 10 )	26 ( 12 )	20 ( 6 )	20 R 7 年度
	② スポーツ教室・大会参加者数	人	1,380 ( 372 )	1,380 ( 0 )	1,380 ( 343 )	1,380 R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	7,866	6,663	8,403	千円
人件費	18,850	19,315	18,551	千円
総計	26,716	25,978	26,954	千円

【財源内訳】一般財源 8,273千円 その他（市主催事業参加者負担金、広告事業収入） 130千円  
 【執行内訳】報酬 4,940千円 職員手当等 756千円 報償費 345千円 旅費 514千円 需用費 1,171千円 役務費 100千円 使用料及び賃借料 524千円 負担金・補助金・交付金 53千円  
 合計 8,403千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

スポーツの推進に関する事務については、アンケート調査などを活用し、関係機関と調整を図りながら実施に向けた準備を進めた。今後においても限られた予算で効果が得られるよう実施していく。

また、本市の現状と課題を分析し、スポーツ実施率が上がるようスポーツ推進を図っていく。オリンピック・パラリンピックに関連する事業のうち、可能な事業について、今後も引き続き、レガシーとして継続していく。



# 公園体育施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

公園体育施設（11施設）の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

改修工事及び計画を検討するために職員による施設巡回点検を行った。令和3年度の改修工事は実施していない。

#### 【参考】

（R2年度）故障により不具合が生じた、中央公園野球場内放送用設備の緊急改修工事を実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	0 ( 0 )	10 ( 1 )	0 ( 0 )	1 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	4,125	0	千円
人件費	388	388	151	千円
総計	388	4,513	151	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
 【執行内訳】 執行額 0千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の老朽化に対応するため、指定管理者と連携を図りながら、実施計画に基づき施設の改修・修繕に取り組んでいく。  
 公園体育施設全体で老朽化が進んでいることから、今後、必要とされる修繕工事、改修工事等を実施計画に位置づけ、計画的に施設の修繕・改修等を実施していく。

# 溝沼子どもプール施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・溝沼子どもプール設置及び管理条例  
 ・溝沼子どもプール設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

溝沼子どもプールの維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

令和3年度は、計画的な改修工事は実施していない。

#### 【参考】

(R元年度) 第1機械室ろ過機ろ材取替（大ろ過機）…ろ過機ろ材（荒砂・姫砂）の取替工事を実施。

(R2年度) 第2機械室ろ過機ろ材取替（大ろ過機）…ろ過機ろ材（荒砂・姫砂）の取替工事を実施。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	1 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	2,970	1,501	0	千円
人件費	1,707	1,396	1,363	千円
総計	4,677	2,897	1,363	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
 【執行内訳】 執行額 0千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の老朽化に対応するため、委託業務の請負業者と連携を図りながら、実施計画に基づき施設の改修・修繕に取り組んでいく。今後も実施計画に位置づけ、大型コースター改修工事、プール底盤舗装改修工事などを計画的に進めていく。

# 総合体育館施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

総合体育館の維持管理のため、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

R3年度は改修工事は実施していない。

【参考】（H30年12月～R元年6月まで第1期工事、R元年9月末～R2年7月まで第2期工事を実施。）

第1期工事 輻射熱式空調設備の設置、1階多目的トイレ改修、2階男子・女子トイレ改修等を行った。

第2期工事 メインアリーナ、サブアリーナ床改修、サブアリーナ、トレーニング室天井改修、屋上防水及び外壁改修、エレベータの設置、照明のLED化等を行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	381,356	566,030	0	千円
人件費	1,086	1,241	303	千円
総計	382,442	567,271	303	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
 【執行内訳】 ・執行額 0千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

実施計画に基づき、設計等を含めて約4年度に渡って改修工事による施設整備に取り組んできた（令和2年度に改修工事完了）。今後も、施設の状況等を常に把握しながら管理を行い、適宜、必要な段階における修繕等を実施していく。

平成30年度から第1期工事としてメイン・サブアリーナ空調設備設置、キュービクル改修、令和元年度から令和2年度にかけて、第2期工事として外壁改修工事、屋上防水、メイン・サブアリーナ床改修など大規模改修を計画的に進めてきた。今後においては、施設を管理していく中で、必要に応じた修繕等を適宜、実施していく。

# 滝の根テニスコート施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

滝の根テニスコートの維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

改修工事及び計画を検討するために職員による施設巡回点検を行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	0 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	155	155	151	千円
総計	155	155	151	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
 【執行内訳】 執行額 0千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の老朽化に対応するため、指定管理者と連携を図りながら、実施計画等に基づき施設の改修・修繕に計画的に取り組んでいく。毎年定期的にコート整備を行うとともに、今後、コートの改修等について実施計画に位置づけ、大規模改修や修繕などを計画的に進めていく。

# 武道館施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

武道館の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

改修工事及び計画を検討するために、関係部署との協議、打合せ等を行い、具体的な改修工事の実施に向けた検討を行った。

		指標名	単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	①	改修工事箇所数	箇所	0 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②			( )	( )	( )	R 年度
成果	①	施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 R 7 年度
	②			( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	388	388	3,332	千円
総計	388	388	3,332	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
 【執行内訳】 執行額 0千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の老朽化に対応するため、指定管理者と連携を図りながら、実施計画等に基づき、今後、施設の改修・修繕に取り組んでいく必要がある。また、今後は、使用料など受益者負担のあり方についても見直す余地がある。

耐震診断の結果、施設の中で一部耐震基準を満たしていない箇所があるため、耐震改修工事が必要である。よって、具体的な工事の方向性及び対応等について検討を行っていく。（令和4年度については、耐震改修工事の設計を予定）

# 公園体育施設管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する公園体育施設（11施設）及び民間施設を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

公園体育施設（11施設）の適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

市民スポーツ推進のため、公園体育施設（11施設）総合体育館の適切な維持管理・運営を行った。

〔各施設の開場日数（R4年1月末現在）〕

朝霞中央公園野球場245日 朝霞中央公園陸上競技場302日 青葉台公園テニスコート・芝生広場302日 北朝霞公園野球場302日 弁財公園テニスコート302日 内間木公園テニスコート・弓道場302日 内間木公園ソフトボール場274日 上野荒川運動公園野球場・サッカー場 302日

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設運営箇所数（公共施設）	箇所	11 ( 11 )	11 ( 11 )	11 ( 11 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 公園体育施設利用者数	人	415,000 ( 583,694 )	415,000 ( 351,583 )	415,000 ( 401,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	77,259	81,797	79,473	千円
人件費	465	465	454	千円
総計	77,724	82,262	79,927	千円

**【財源内訳】**  
 一般財源 50,453千円 その他（各施設の使用料） 29,020千円  
**【執行内訳】**  
 役員費 70千円 委託料 79,403千円  
 合計 79,473千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設運営を目指し、市民の視点に立った良好な施設運営を進めていく必要がある。また、一部の施設では利用率が低いので利用率が向上するようP R活動等を行っていく。

なお、今後は、個人開放事業の有料化など使用料について受益者負担のあり方を基に見直す余地がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞き、今後更に利用者が増加するよう努力する。

一部の施設では利用率が低いので利用率が向上するよう関係団体等と協議するとともに、P R活動や新規活動団体の掘り起こしを可能な範囲で行っていく。また、陸上競技場の個人開放事業を無料で行っているが、受益者負担の考えから有料化の方向性について検討する必要がある。なお、団体貸し出しの使用料については、全庁的に使用料及び手数料などを見直す際には、他市の状況等も踏まえて検討する必要がある。

# 溝沼子どもプール管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・溝沼子どもプール設置及び管理条例  
 ・溝沼子どもプール設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

溝沼子どもプール施設を利用することにより、幼児・児童の心身の健康が向上している。

### 事業内容【継続】

溝沼子どもプールの開場に伴う、施設の適切な維持管理、運営  
 開場期間：7月の第2土曜日から9月の第1日曜日まで

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

施設管理委託、ろ過機維持管理業務委託などの業務委託を活用し、施設の管理運営を行った。

開場日数 58日（7月10日から9月5日までの58日間の開場（一部、ろ過機の故障により、滝のプールの使用を中止とした。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会場内が密にならないよう、1日2部制とし、市内在住の方を対象として、各回の定員を200人として開場した。）

開場時間 午前9時30分から午後5時までの開場を予定

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開場日数	日	51 ( 51 )	58 ( 0 )	58 ( 58 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 入場者数	人	30,000 ( 27,326 )	32,000 ( 0 )	32,000 ( 5,913 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	32,202	13,342	36,950	千円
人件費	1,551	1,551	1,514	千円
総計	33,753	14,893	38,464	千円

**【財源内訳】**  
 一般財源 36,289千円 その他 661千円  
**【執行内訳】**  
 需用費 6,557千円 役務費 69千円 委託料 27,237千円  
 使用料及び賃借料 3,087千円  
 合計 36,950千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の老朽化が進んでいることもあり、現状は部分的な改修・修繕で対応しているが、今後、大規模な改修・修繕を検討していく必要がある。次年度以降についても安心・安全な施設管理を図っていく。また、施設使用料については、全庁的に使用料及び手数料などを見直す際には、他市の状況も踏まえ検討する必要がある。

# 総合体育館管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する総合体育館を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

総合体育館の適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

市民スポーツ推進のため、総合体育館の適切な維持管理・運営を行った。令和元年度及び2年度は、改修工事を行ったため、開場日数が例年に比べて減っている。（R元年10月～R2年7月まで第2期改修工事を実施。8月4日からリニューアルオープンした。）

開場日数 42日（R4年1月末現在）（R3年4月～11月まで、新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用のため、通常の貸出は行わず、12月15日から一般への利用貸出を再開した。）

開場時間 午前9時から午後9時30分まで

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開館日数	日	92 ( 201 )	270 ( 230 )	361 ( 99 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	55,000 ( 108,184 )	165,000 ( 101,347 )	220,000 ( 30,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	47,304	50,342	53,213	千円
人件費	465	465	454	千円
総計	47,769	50,807	53,667	千円

【財源内訳】  
 一般財源 50,013千円 その他（総合体育館使用料） 3,200千円  
 【執行内訳】  
 役務費 194千円 委託料 53,019千円  
 合計 53,213千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設運営を目指し、市民の視点に立った良好な施設運営を進めていく必要がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞くことなどにより、更に利用者が増加するよう努力する。

なお、令和3年度において、利用時間の区分や使用料などの受益者負担等について見直しを図り、令和4年度から改定を行うこととした。

# 滝の根テニスコート管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する滝の根テニスコートを利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

滝の根テニスコートの適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

市民スポーツ推進のため、滝の根テニスコートの適切な維持管理・運営を行った。

開場日数 282日（R4年1月末現在）

開場時間 午前8時30分から午後4時30分まで

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開場日数	日	337 ( 337 )	337 ( 281 )	337 ( 337 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	34,000 ( 25,389 )	34,500 ( 22,302 )	22,000 ( 22,500 )	22,000 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	18,305	18,588	18,687	千円
人件費	465	465	379	千円
総計	18,770	19,053	19,066	千円

【財源内訳】一般財源 18,097千円 その他（滝の根テニスコート使用料）590千円  
 【執行内訳】役員費 1千円 委託料 7,778千円 使用料及び賃借料 10,908千円  
 合計 18,687千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設運営を目指し、市民の視点に立った良好な施設運営を進めていく必要があり、P R活動に努めるとともに、更なる利用率の向上に努める。

なお、今後は、使用料など受益者負担のあり方についても見直す余地がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞くことなどにより、更に利用者が増加するよう努める。

また、費用対効果の点では課題もあるが、利用率も高いことや市民サービスを考えると今後も継続していく必要があると考える。

なお、使用料については、全庁的に使用料及び手数料などを見直す際には、他市の状況も踏まえ検討する必要がある。

# 武道館管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／生涯学習・スポーツ課

／スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

・朝霞市体育施設設置及び管理条例  
 ・朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する武道館を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

武道館の適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

市民スポーツ推進のため、武道館の適切な維持管理・運営を行った。

開場日数 292日（R4年1月末現在）

開場時間 午前9時から午後9時まで

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開館日数	日	361 ( 349 )	361 ( 290 )	349 ( 349 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	28,500 ( 35,755 )	29,000 ( 20,247 )	28,500 ( 31,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	9,451	11,240	9,707	千円
人件費	465	465	379	千円
総計	9,916	11,705	10,086	千円

【財源内訳】  
 一般財源 8,447千円    その他（武道館使用料） 1,260千円  
 【執行内訳】  
 役務費 4千円    委託料 9,703千円  
 合計 9,707千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充     継続     縮小     休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設運営を目指し、市民の視点に立った良好な施設運営を進めていく必要がある。今後は、使用料など受益者負担のあり方について見直す余地がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞き、更に利用者が増加するよう努力する。

新しい団体の確保や相撲場の利用率を向上させる手法を関係団体や指定管理者と調整していく。

また、使用料については、全庁的に使用料及び手数料などを見直す際には、他市の状況等も踏まえ検討する必要がある。

# 旧高橋家住宅管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 重要文化財旧高橋家住宅設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

重要文化財である旧高橋家住宅の保存及び活用を図ることで、郷土の歴史及び文化に対する市民の理解と関心が高まり、市民へ生涯学習の場が提供されている。

### 事業内容【継続】

重要文化財旧高橋家住宅を活用したイベントや体験学習、ボランティア活動を実施すると共に、維持管理を行う。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

体験学習等活用事業について、新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止したが、畑を活用した体験学習を2件実施し、うち1件は新規事業として実施することができた。年中行事展示も同様に一部規模を縮小して14回実施した。茅葺屋根（大棟）の補修や枯損木の伐採等、建造物及び敷地の維持管理を適切に行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開園日数	日	301 ( 303 )	301 ( 257 )	301 ( 301 )	R 7 年度
	② 体験学習等開催回数	回	20 ( 18 )	20 ( 1 )	20 ( 2 )	R 7 年度
成果	① 来園者数	人	11,720 ( 14,215 )	11,760 ( 8,855 )	11,800 ( 10,500 )	R 7 年度
	② 体験学習等参加者数	人	1,040 ( 990 )	1,060 ( 659 )	1,080 ( 42 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	7,721	9,430	16,357	千円
人件費	8,145	6,206	7,193	千円
総計	15,866	15,636	23,550	千円
				【財源内訳】一般財源 16,357千円
				【執行内訳】
				報酬 3,147千円 役務費 116千円
				職員手当等 286千円 委託料 8,417千円
				旅費 165千円 使用料及び賃借料 55千円
				需用費 4,171千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

市民の学習の場であるとともに、登録ボランティアの活動の場になっていることから、引き続きボランティアと協働して維持管理を図る。

体験学習等活用事業について、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、内容や実施方法等を検討して実施する。

保存整備終了後10年を超え、経年劣化による傷みが見られ始めていることから、茅葺屋根の差茅等、必要な補修を実施し、「シティ・セルス朝霞ブランド」としてふさわしい状態を整えていく。

# 指定文化財等保護管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 柵塚古墳歴史広場設置及び管理条例 湧水代官水管理要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

市内にある県・市指定文化財の適切な保護及び管理が行われている。

### 事業内容【継続】

広沢の池の維持・管理を行う。  
 柵塚古墳歴史広場の維持・管理を行う。  
 二本松を管理する。  
 湧水代官水の維持・管理を行う。  
 その他の指定文化財の管理を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

柵塚古墳歴史広場・湧水代官水の施設・清掃・管理等、広沢の池・二本松の保護・管理等を、委託のほか一部職員により行った。湧水代官水において、フェンスの移設修繕、枯損木伐採及び高木剪定を実施し、市指定文化財の適切な管理を図った。地震・台風・降雪等の際に巡回点検を適宜行い、指定文化財の安全管理を図った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 県・市指定文化財点検回数	回	12 ( 19 )	12 ( 17 )	12 ( 23 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 県・市指定文化財件数	件	33 ( 33 )	34 ( 34 )	34 ( 34 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	8,335	8,895	12,372	千円
人件費	8,921	8,145	7,572	千円
総計	17,256	17,040	19,944	千円
				【財源内訳】一般財源 12,372千円
				【執行内訳】
				需用費 1,971千円 委託料 8,057千円
				役務費 7千円 使用料及び賃借料 2,337千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

指定文化財の新規指定の検討を進めるとともに、文化財の重要性についての周知を継続して行う。指定文化財に関する情報を、広報誌やホームページ等の媒体を活用して積極的な提供を図る。文化財指定地等の管理敷地における樹木への虫害等の発生について、巡回点検等により早期覚知を図るとともに適切に対応する。歴史的建造物の保存について所有者との協議を継続して行う。

# 文化財保護普及事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 朝霞市文化財保護関係団体補助金交付要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

文化財が市民共有の財産であるという意識が啓発され醸成されている。

### 事業内容 【継続】

市内所在の文化財について調査・研究及び啓発・公開を行う。  
市内文化財保護関係団体への補助金交付を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

文化財保護審議委員会議を2回実施した。文化財関係団体3団体に補助金を交付した。  
広報あさかや朝霞市ホームページ等の電子媒体を活用して、文化財情報を掲載するなど、文化財に関する普及啓発活動を行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 文化財保護関係団体への補助金交付	件	3 ( 3 )	3 ( 3 )	3 ( 3 )	R 7 年度
	② 文化財保護審議委員会議の開催	回	2 ( 2 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	R 7 年度
成果	① 文化財保護関係団体の事業開催回数	回	5 ( 5 )	5 ( 0 )	5 ( 0 )	R 7 年度
	② 新規指定件数	件	- ( データなし )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	857	2,142	924	千円
人件費	6,593	6,593	6,436	千円
総計	7,450	8,735	7,360	千円
				【財源内訳】一般財源 924千円
				【執行内訳】
				報酬 104千円 役務費 28千円
				旅費 19千円 使用料及び賃借料 271千円
				需用費 347千円 負担金、補助及び交付金 155千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの  
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

広報誌やホームページ等の媒体を活用して、文化財に関する情報発信を積極的に行い、普及啓発を図る。  
市内小学校での埋蔵文化財出土遺物展示の常設を進め、学校教材としての活用を図る。  
補助金交付団体の溝沼獅子舞保存会や根岸野謡保存会に対して、今後も補助金の交付を継続するとともに、コロナ禍における無形文化財の保存のための支援方法を検討する。

# 埋蔵文化財センター管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/文化財課

/文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市埋蔵文化財センター設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

埋蔵文化財保護のための埋蔵文化財センターが適切に維持管理され、整理作業が安全に行われている。

### 事業内容【継続】

埋蔵文化財センターの管理・運営を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

空調設備・消防設備等の保守点検、夜間・休所日の機械警備を業務委託し、埋蔵文化財センターの適切な管理を行った。展示コーナーの展示替えを行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開所日数	日	301 ( 293 )	301 ( 248 )	290 ( 292 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 埋蔵文化財整理済遺跡数	件	3 ( 3 )	2 ( 5 )	2 ( 4 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,722	1,598	1,742	千円
人件費	5,042	6,206	6,058	千円
総計	6,764	7,804	7,800	千円
				【財源内訳】一般財源 1,742千円
				【執行内訳】
				需用費 1,025千円 委託料 572千円
				役務費 87千円 使用料及び賃借料 58千円

## 3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

埋蔵文化財の保存・活用の拠点である埋蔵文化財センターを引き続き適切に維持・管理・運営していく。プレハブ建築であり、相当年数を経過していることから、不具合の発生時に適宜修繕を実施し、適切に維持・管理していく。見学者の増加につながるよう、引き続き展示コーナーの充実を図る。

# 埋蔵文化財調査保存事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

市内埋蔵文化財の歴史的価値・所在を市民が把握しており、文化財の報告書などが市民に公開されている。

### 事業内容【継続】

埋蔵文化財について調査及び保存を行う。

埋蔵文化財の整理・保管・金属処理等を行うと共に、発掘調査報告書及び報告書刊行のための資料作成を実施する。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

埋蔵文化財の確認調査（試掘調査）、発掘調査、整理作業を実施した。

報告書刊行のための資料作成、出土品の科学的保存処理を委託により実施した。

整理作業及び資料作成の成果により、埋蔵文化財調査報告書を2冊刊行した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 埋蔵文化財整理件数	件	2 ( 2 )	2 ( 5 )	3 ( 4 )	R 7 年度
	② 埋蔵文化財調査件数	件	2 ( 5 )	2 ( 9 )	2 ( 13 )	R 7 年度
成果	① 埋蔵文化財報告遺跡数	箇所	3 ( 3 )	2 ( 5 )	2 ( 4 )	R 7 年度
	② 埋蔵文化財調査報告書作成件数	件	2 ( 2 )	1 ( 2 )	2 ( 2 )	R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	16,779	19,436	19,623	千円
人件費	10,860	12,799	12,115	千円
総計	27,639	32,235	31,738	千円
				【財源内訳】一般財源 17,373千円 国庫支出金 1,500千円 県支出金 750千円
				【執行内訳】報酬 5,875千円 役務費 73千円 旅費 144千円 委託料 5,667千円 需用費 437千円 使用料 7,427千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

開発行為・建築工事等に伴う確認調査・発掘調査について、事業主と遺漏なく協議を行い、適切に実施していく。

朝霞市ホームページ等を活用して、発掘調査終了後に調査結果・内容等について情報発信し、普及啓発を促進する。

区画整理事業等、大規模な土木工事に伴う試掘調査について、予算確保等計画的に行い、遺漏なく実施していく。

# 芸術文化振興事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3421,3422

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市文化協会補助金交付要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

文化協会会員をはじめ、文化芸術活動を行う市民や団体が活動の成果を発表し、共演、交流することで、市民の文化活動への機運が高まっている。また、若い世代が参加することによって、芸術・文化の継承に繋がっている。

### 事業内容【拡充】

- ・文化事業を共催して実施する。
- ・文化協会に補助金を交付する。
- ・芸術文化展、文化祭、市民芸能まつり等を実施する。
- ・夏休み親子陶芸教室、手作り教室等を開催する。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

文化事業については、新型コロナの影響により、文化祭及び芸術文化展ともに例年より規模を縮小したが、感染症対策を講じて開催することができた。補助金については、文化協会の活動経費や文化祭等の事業経費を例年どおりに実施することを見込んで交付したが、事業を縮小したため、必要なくなった事業経費が文化協会より返金された。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 朝霞市文化祭開催回数	回	1 ( 1 )	1 ( 0 )	1 ( 1 )	R 7 年度
	② 朝霞市芸術文化展開催回数	回	1 ( 1 )	1 ( 0 )	1 ( 1 )	R 7 年度
成果	① 朝霞市文化祭延べ参加者数	人	18,500 ( 12,366 )	19,000 ( 0 )	12,490 ( 2,196 )	R 7 年度
	② 朝霞市芸術文化展延べ参加者数	人	5,350 ( 4,261 )	5,500 ( 0 )	4,380 ( 932 )	R 1 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,994	984	1,021	千円
人件費	9,425	6,206	6,436	千円
総計	11,419	7,190	7,457	千円

【財源内訳】一般財源 1,021千円  
【執行内訳】報償費 100千円、役務費 1千円、負担金、補助及び交付金 920千円  
合計 1,021千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

● 拡充 ○ 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

### 【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

伝統文化継承のため、引き続き多くの市民が体験・参加できる事業を実施していくとともに、コロナ禍の状況を踏まえ、オンラインの活用等新たな活動成果の発表の場を提供できるよう努める。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、文化・芸術活動を自粛、縮小せざるを得ない状況の中で、活動を実施しようとする団体に対して、公演、展覧会の実施に係る経費の一部を補助する補助金制度を新設し、市内の文化・芸術の振興を図っていく。

# 国際・都市間交流事業

部名/課名/係名

市民環境部

/ 地域づくり支援課

/ 地域づくり支援係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3433

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

都市間交流事業実施要綱 朝霞市国際化基本指針

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

彩夏祭などの地域文化を市内外にPRすることにより、他地域との交流が図られ、まちが活性化していく。

### 事業内容【継続】

災害時相互応援協定締結市と交流する。  
 国際交流団体と情報を共有する。  
 協定締結先をPRするとともに市民向けに優待サービスを提供してもらう。  
 都市間交流事業庁内連絡会議を開催する。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・朝霞市民優待の実施（佐久市、東根市、西伊豆町/ホテル・旅館の宿泊料10%割引、瑞浪市/3館共通バスポート配布）
- ・市民ホール等に都市間交流コーナーを設置、各市のポスターの掲示やパンフレットを配布
- ・都市間交流事業庁内連絡会議の開催

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 災害時相互応援協定締結市相互交流回数	回	5 ( 37 )	5 ( 29 )	36 ( 28 )	40 R 7 年度
	② 彩夏祭、農業祭などにおける交流先都市のPR回数	回	3 ( 3 )	3 ( 0 )	3 ( 1 )	3 R 7 年度
成果	① 優待サービス提供件数	件	20 ( 6 )	20 ( 53 )	30 ( 2 )	42 R 7 年度
	② 優待サービス利用者数	人	80 ( 6 )	100 ( 53 )	60 ( 2 )	100 R 7 年度

### 総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,578	37	194	千円
人件費	3,103	5,042	2,650	千円
総計	4,681	5,079	2,844	千円

【財源内訳】一般財源 194千円  
 【執行内訳】旅費 164千円 需用費 30千円

## 3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他

**【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。**

新型コロナの影響を踏まえながら、交流先自治体の魅力を積極的に発信し、市民への周知と交流の促進を図っていく。